

### 第3回中海自然再生協議会

日時:2007年10月27日 15:00~17:00

場所:鳥取県西部総合事務所

協議会に先立って13時から、全体構想策定のための勉強会が以下のように行われた(資料を掲載)。なお、同時に中海の湖底および周辺地形などの変遷、昔の中海の写真などのパネル展示が行われた。

- ・高安克己：中海の自然史とこれからの中海
- ・徳岡隆夫：中海湖底地形の人為的改変状況
- ・相崎守弘：中海の湖流変化と貧酸素水塊の形成
- ・山口啓子：湖底堆積層に記録された中海100年間の環境変化
- ・国井秀伸：この50年で中海はどのように変わったか(その2.水生植物)
- (中村幹雄：中海の魚と環境と漁業振興；資料のみ配布)

#### 【配布資料】

- ・全体構想案「豊かな漁場・遊べるきれいな中海への取り組み(仮称)
- ・中海環境教育プログラム(案)
- ・水環境専門部会報告
- ・飯梨川部会報告
- ・安倍彦名部会報告
- ・崎津部会報告
- ・自然再生協議会情報連絡会議(西日本)の開催についての案内(環境省自然環境計画課)
- ・中海自然再生協議会 委員名簿および出欠表

#### 「協議会議事要旨」

- ★2007年10月27日(土)15時~17時、鳥取県西部総合事務所で開催された。参加者は委員38名および傍聴者15名であった。協議会終了後には自由討議の時間を持つ予定であったが、時間がなく省略、17時に終了した。なお、協議会に先立つ勉強会では全体構想策定にむけて6つの話題提供(1つは文書報告のみ)がなされた(報告内容については別に掲載)。
- ★ 議長の高安会長により、HPに掲載された第2回協議会の議事要旨案および協議会の概要についての報告がなされた(議事要旨についての修正加筆などはなし)。

★（議題1：中海の自然再生のための全体構想の策定(第一次案)について）

報告が国井部会長からなされ、討議が行われた。討議は次回の協議会に継続される。

主な内容は以下のとおりである（それぞれの発言については末尾に掲載）。

国井部会長から全体構想の策定が協議会のもっとも重要な課題であること、来年3月をめどに作成したいと考えていること、これまで4回の部会で討論した内容について配布資料をもとに説明がなされた。全体構想の目次については執筆候補者を含めて紹介された。自然再生の対象となる地域は中海大橋から境水道大橋までの範囲で、その集水域を含むこと、自然再生の目標について、大目標を「豊かな漁場・遊べるきれいな中海」としたこと、この下で流域全体で達成したい目標（中目標）として、1）中海を活かした住民参画型地域づくり、2）環境教育の推進、3）ラムサール条約に基づく水鳥との共存、4）アマモ場の再生と赤貝（サルボウ）の復活、5）水質浄化と底質改善による汽水域生態系のほう全、の5つの柱が部会から提案されており、その下の具体的目標についてはこの場での討論をもとに各専門部会、地域部会および個人から提出してもらい、次の協議会（12月15日）で討論したいとの説明がなされた。

討論では、中海の変遷史について、他の協議会でも詳細に記述されている例があるので、くわしく記述し、参加者が共通認識をもてるようにしてほしいとの意見があり、当然そのようにするつもりであること、図表を多く取り入れたわかりやすいものとしたいとの答えがあった。なお、これに関連して、印刷費の手当を考える必要があるとの意見が出された。中目標についてはラムサール条約を入れた意図はどこにあるのか、流入負荷の削減はどの項目に入るか、具体的項目を検討するなかで中目標を変更することもあるのではないか、文化的な課題について入れる必要があるのではないか、とくにアマモとサルボウを取り上げる意図はなにか、等々について活発な討論がなされ、とりあえずこの5つを切り口として、それらの下の具体的は課題について、資料に示されている設定票に記入して提出してもらおうこととした。なお、中目標という言葉については「推進の柱」としたほうがわかりやすいのではないかと意見がだされ、そのように変更することにした。また、5つの柱については11月中をめどに作成し、具体的な目標についてはそれにもとづいて示されている設定票に各専門部会、地域部会、および個人から提出してもらい、次の協議会で討論を行うこととした。

最後に部会長から大目標の「豊かな漁場・遊べるきれいな中海」について、一般住民にこの問題について広く宣伝、関心を深めることも意図して、イメージ図といったものを公募してはどうかとの提案があり、広く一般向けよりは中海周辺の小中校生を対象に募集する方向で今後準備を進めることとした。

★（議題2：環境教育プログラムについて）

事務局から経過報告がなされ、環境プログラム案（年間の行事例の案のみ）が紹介された。今後、世話役を募集し、具体化を図る。

- ★安倍彦名部会、崎津部会、飯梨川部会、水環境専門部会からの報告がなされた。
- ★環境省から西日本にある自然再生協議会の連絡会議を来年1月に大阪（岸和田の神於山自然再生協議会）で行うこと、本協議会にも参加要請があった（資料を配付）。事務局に一任してほしいことと、意見は事務局に寄せてもらうこととした。
- ★鳥取県西部総合事務所から今年度の事業の進捗状況を説明予定であったが時間がなく省略、今後協議会として実施計画を検討することになるが、先進地域からの招へいによる勉強会を県としても行う考えがあるとの説明があった。
- ★鳥取県衛生環境研究所から、平成16年度から中海の調査研究を行ってきたが、本年度の計画として彦名干拓地承水路でコアマモの試験植栽を行う予定があること、植栽の状況については機会を設けて説明するとの紹介があった。
- ★次回開催日を12月15日（土）、15時から鳥取県西部総合事務所とすること、事前に13時から勉強会を行うことが承認された。勉強会では引き続き全体構想策定のための話題提供を予定する。
- ★協議会のHPのアドレス変更が報告された。  
新しいアドレスは <http://nakaumi-saisei.sakura.ne.jp/>

（以上）